

図2 カミツキガメ根絶に向けたロードマップ

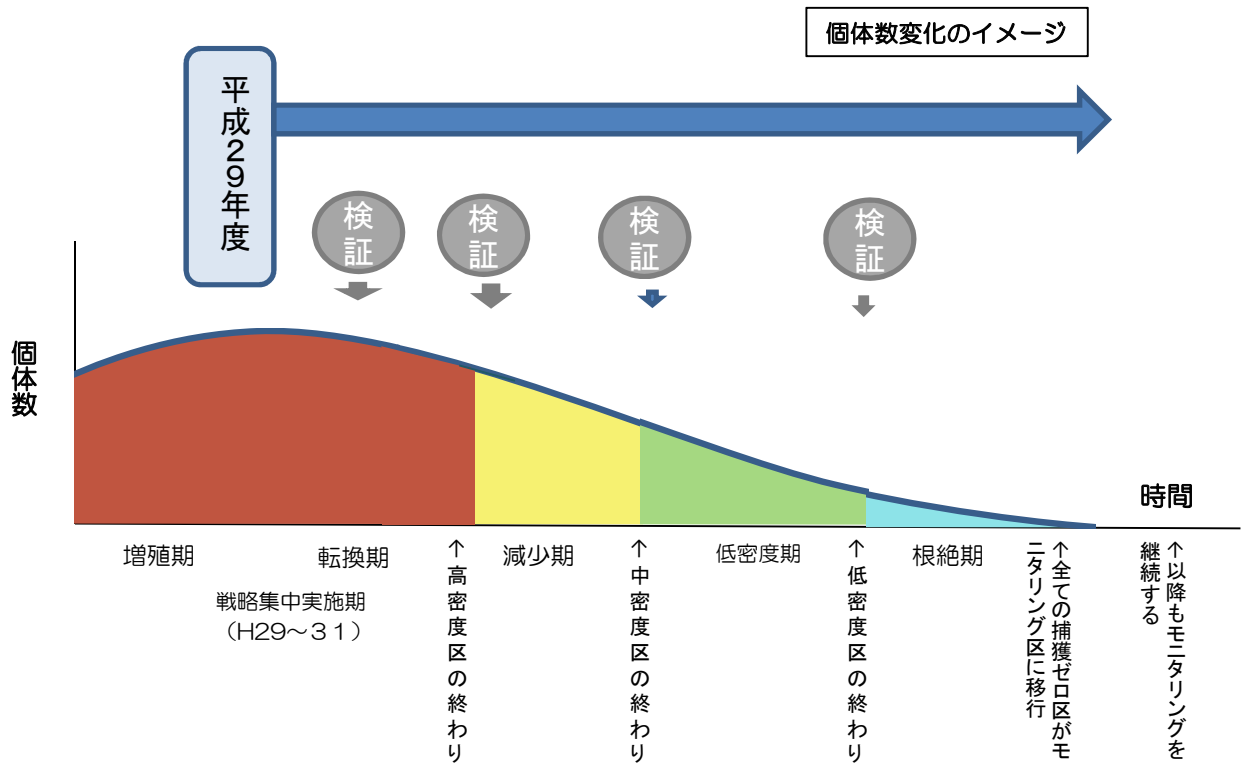


表2 カミツキガメ根絶に向けたロードマップにおける各防除ステージでの考え方

防除段階	転換期 戦略集中実施期	転換期	減少期	低密度期	根絶期
防除のポイント	分布の拡大を抑えつつ、可能な限りの捕獲数を確保する	分布域を把握し、捕獲効率が減少してきても捕獲圧を緩めない	低密度地域の捕獲に力点を置き、空白域を作る	分断された個体群を個々に根絶させる	捕獲がゼロとなる状況を継続的に維持する
主な防除手法	一定範囲を根絶させる捕獲作業量を算出し、新たな捕獲手法を開発する	すべての生息可能な場所に捕獲圧をかけ続ける	特定の区域に集中的に捕獲圧をかける	探索犬や手探り捕獲など、対象を探り出す手法を用いる	環境DNA等による生息モニタリングを実施する
防除効果の指標	カミツキガメの個体群構造が変化する	捕獲率が減少へ転じる	捕獲圧を高めても捕獲率が減少する	生態系が健全化し、希少種が生息可能な環境となる	緊急収容による捕獲もゼロになる